

# 令和元年度 事業報告

## ◎ 令和元年度事業の概要

令和元年度においては、誰もが安心して暮らせる地域づくりに取り組むため、令和元年度から5年間の計画として策定された岩見沢市社会福祉協議会地域福祉活動計画及び社会福祉協議会としての使命や経営理念、経営方針、人材育成等を定めた第2期岩見沢市社会福祉協議会発展強化計画に基づき事業を実施してまいりました。

また、地域に開かれた市民から必要とされる社会福祉協議会を目指し、これまで取組んでまいりました住民参加、協働による地域に根差したボランティア育成事業、成年後見支援センターの運営、介護保険事業や総合支援事業を中心とした各福祉サービスの提供や相談支援事業等の充実に努めました。

介護サービス事業においては、介護保険報酬の改定等により、介護部門の収支が悪化していることから、業務の効率化を図るため、岩見沢市と協議を行い、今年度末をもって美流渡デイサービスセンターの管理運営を終了し、令和2年度より通所事業を栗沢デイサービスセンターに統合することといたしました。

以下、令和元年度事業計画に沿った推進項目について報告します。

### 「重点事項」

#### ● 地域福祉懇談会の開催

新型コロナウイルスの影響により、次年度に延期した。

#### ● 災害ボランティア現地対策本部の組織整備

被災地の社協職員として求められる役割や災害ボランティアセンターの役割について災害ボランティアセンター設置・運営訓練に係る事前学習会を開催するとともに、災害ボランティアセンター設置・運営訓練を2回行い、被災時に備えた。

#### ● 福祉サービスの推進及び経営の健全化

当会が設置している居宅介護支援事業、訪問介護事業、通所介護事業、相談支援事業、障がい児通所支援事業について、新規利用者増に向けて努力するとともに、利用者が安心して満足できるサービスを受けることができるよう、サービスの質的向上と職員の資質向上に努めた。

## 1 地域福祉の推進

地域福祉活動計画に基づき、多様化する福祉課題・生活課題の解決に向けた、住民主体の福祉活動への支援やボランティアの養成を行うとともに、災害時に迅速かつ効果的に被災者支援を進めるための体制整備等、住み慣れた地域で安心して暮らせる地域づくりの推進に努めた。

また、地域福祉事業の収支改善に向けて、理事を構成員とする検討委員会を設置し、事業見直しの検討を行った。

(1) 地域福祉事業検討委員会【新規】

地域福祉事業の収支改善に向けて、理事を構成員とする検討委員会を設置し、令和2年度から見直しが可能な事業を集中的に協議・検討を行い、令和2年度の事業見直し方針を理事会に報告した。

□開催回数 4回

□検討結果 廃止 4事業 改善見込額 275,000円  
縮小・見直し 4事業 改善見込額 945,000円

(2) 地域住民の声を反映できる課題把握と情報共有

①地域福祉懇談会の開催【重点】【延期】

当会が実施する地域福祉活動の理解促進と地域住民が抱える生活課題等の把握を目的に地域福祉懇談会の開催準備を進めていたが、新型コロナウイルスの影響により次年度に延期した。

□3月3日 栄町会地区 参加予定者 42人

②実施事業からのニーズ調査

各実施事業・講座ごとにアンケート調査を行い、ニーズに沿った事業展開や講座内容の充実を図るため、検討を行った。

□アンケート実施回数「指定地域教育セミナー」他 29回

(3) 相談支援体制の充実

①心配ごと相談事業

市民の日常生活上の困りごとの解決や軽減に向けた助言、専門機関等への橋渡しを行い、心配ごとの早期解消に努めた。

また、地域の方々が気軽に相談できるよう、市内各所で移動心配ごと相談所を開設した。

□計6回実施 相談件数1件

開設日	会 場	開設時間
4月18日	美流渡コミュニティセンター	13時30分～15時30分
6月21日	高齢者福祉センター「えみる」	13時30分～15時30分
8月22日	高齢者福祉センター「ふれあい」	13時30分～14時30分
10月17日	高齢者福祉センター「えみる」	13時30分～15時30分
12月19日	栗沢文化センター	13時30分～15時30分
2月20日	幌向総合コミュニティセンター	13時30分～15時30分

②民生委員・児童委員との連携

民生委員・児童委員に「ふれあい相談員」を委嘱し、地域の身近な「相談窓口」として、相談支援の促進を図った。

③各相談機関等との連携強化

様々な相談に対応するため、各相談機関の会議等に参加し、他の機関との連携

強化に努めた。

□出席回数 28回「生活サポートセンターりんく支援調整会議」他

#### (4) 地域住民と共に進める支え合い活動や交流活動の促進

##### ①小地域福祉ネットワーク活動事業

小地域（ふれあい推進協議会・地区協議会・町会等）を基盤として展開する、地域住民による見守り、安否確認活動や身の世話等の日常生活支援活動に対して助成を行い、地域における支え合い活動の活性化に努めた。

□助成金 2,929,740円

##### ②地域除排雪活動支援事業（岩見沢市からの受託事業）

自力で除雪が困難な独居高齢者世帯や身体障がい者世帯等の要援護者世帯に対し、地域のボランティアによる玄関前等の除排雪活動に助成支援を行い、地域住民同士の支え合い活動の充実を図り、冬期間における要援護者世帯の日常生活の安全確保に努めた。

□対象世帯 1,272世帯 助成金 6,897,000円

##### ③除雪ボランティア派遣事業

自力で除雪が困難かつ家族や親類または町会等からの協力が得られない高齢者世帯や身体障がい者世帯などの要援護者世帯に対して、除雪ボランティアを派遣し、間口の拡幅や暖房器具の給排気筒等付近の除雪支援を行うこととしていたが、少雪の影響により支援活動はなかった。

□登録者 個人6人

□支援世帯数 0件

##### ④地域ふれあいサロン事業

高齢者や障がい者及び子育て中の親子など、外出の機会が少ない方々の閉じこもり予防と安否確認や生活課題の把握等を目的に、世代を超えた誰もが参加できる地域交流活動に対して助成支援を行い、事業の活性化に努めた。

□登録サロン数及び助成金額

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
登録サロン数	21団体	26団体	29団体	33団体	28団体
助成金額	414,000円	588,000円	682,000円	782,000円	424,000円

##### ⑤地域ふれあいサロン活動者情報交換会・研修交流会【中止】

新型コロナウイルスの影響により中止した。

□3月6日 参加予定者 34人

##### ⑥認知症サポーター養成講座

認知症への正しい理解を深め、地域の認知症高齢者を支援するサポーターの養成を図った。また、歩行機能改善や認知機能の低下予防が期待される、ふまねっと運動の体験教室を開催した。

□12月13日 受講者 8人

⑦レクリエーション用具貸出事業

町会・自治会、ボランティア団体及びふれあいサロン等に「紅白玉入れ」や「童話かるた」などのレクリエーション用具の貸出を行い、地域交流の促進と活性化に努めた。

□貸出件数 延べ 24 件

⑧福祉団体等の活動支援

障がい者等の福祉団体へ活動費助成を行い、団体の使命や特徴を活かした活動の活性化に努めた。

□福祉団体助成 8 団体 240,000 円

⑨やさしい在宅介護講習会

在宅介護に係る講話や一般的な介護方法等について演習等を行い、家庭や地域で孤立することなく豊かな生活を送るための一助として、介護知識・技術の向上及び在宅で介護に取り組む方々の日常の悩みや負担の軽減に努めた。

□10月24日～11月1日 参加者 11人

⑩男性のための料理教室

男性が「食」に興味をもち、自分で作る楽しさやバランスのとれた食事の重要性と料理を通しての仲間づくりと家庭生活における自立支援を図った。

□11月15日 参加者 8人

⑪高齢者趣味と教養・健康増進支援事業

岩見沢市老人クラブ連合会が主催する各種事業に対し助成を行い、高齢者が個々の技能や趣味を活かした社会参加活動を通じ、仲間づくりや生きがいの場づくりが図られた。

□ 6月 8日 岩見沢市高齢者文化祭  
助成金 30,000 円 ステージ発表者 527 人  
作品展示品 284 点

□ 7月 20日 岩見沢シニア交流大会  
助成金 80,000 円 参加者 632 人

□ 11月 15日 囲碁将棋大会  
助成金 20,000 円 参加者 42 人

⑫金婚祝賀会開催事業

結婚生活 50 年を迎えるご夫婦を招待し、8月5日、岩見沢平安閣にて「第 46 回金婚を祝う会」を開催した。

□該当者 184 組 368 人 出席者 84 組と 2 人 計 170 人

(5) 地域福祉への理解促進

①地域福祉出前講座

町会・自治会をはじめとする福祉団体等からの要望に沿って、当会職員等が講師となり「地域福祉出前講座」を実施し、地域住民の福祉に対する理解や関心を

深めた。

□出前件数 14件

□内 容 「社会福祉協議会について」他

## ②社会福祉功労者表彰の実施及び推薦

地域福祉活動及びボランティア活動に永年にわたり功労のあった個人・団体や当会に多額の寄付をされた方、市内の福祉団体・施設において永年にわたり勤務された方に対して、その功績を讃え、功労者表彰を実施した。

また、活動を通じて社会福祉に貢献された市内各社会福祉関係者及び団体を岩見沢市の福祉活動功労者表彰をはじめ、北海道社会福祉協議会会長表彰などへ推薦を行った。

### (7) 岩見沢市社会福祉協議会 社会福祉功労者表彰 (敬称略)

功績表彰	善行感謝	ボランティア 功労賞	永年勤続表彰	特別表彰
越前 ゆり子 佐藤 れい子 相馬 チヤ子 池田 恵美子 笠原 一代 星 功 郡司 賢一 作田 淑子 宮崎 明美 岡山 玉栄	岩見沢西 高等学校生徒会 善光寺落語会 大坪 陽子 土田 繁雄 佐々木 茂一 三上 清 池田 絃一 日の出台東町会 グリーンクラブ 佐藤 博厚 井沢 力男 舘 郁子 高田 典子 西岡 和代 清水 蘭子 小林 真弓 佐川 政子 久保田 和子	千葉 涼子	佐藤 幸枝 湯浅 絵理奈 山口 紗矢佳 百澤 宏史 渡部 鋭 山本 直樹 伊瀬 菜津美 橋本 友太 佐藤 圭太 相川 咲子 升元 仁美 崎田 真由 江田 志信 瀧谷 真智子 渡部 ひとみ 松尾 友美 花輪 正喜	高松 孝行

□10月31日・功績表彰(10人)・善行感謝(14人・3団体)・ボランティア功労賞(1人)・永年勤続表彰(17人)・特別表彰(1人)

#### (イ)岩見沢市福祉活動功労者

浦 雅子・加藤 啓子・氏家 久美子・真樹の会

□10月10日 岩見沢市文化センター中ホール

#### (ウ)北海道空知総合振興局長表彰

横田 明・大西 拓也（社会福祉関係団体役職員功労）

早川 ちせ・藤田 雅子・仁志 喜久江・川崎 まり子・堀 輝子・寺西 勝子・山本 洋子・松本 すみ子・越智 博美・田邊 光彦・橋本 博・齊藤 勝彦・金田 久江・玉木 光治・石崎 シナ子・武田 宏子・工藤 千嘉子・千葉 猛（民生委員・児童委員功労）

□8月7日 地域支え合い活動空知地区推進セミナー席上

(エ) 北海道知事表彰

池島 深雪（民生委員・児童委員功労）

□8月21日 北海道社会福祉大会席上

(オ) 北海道社会福祉協議会会長表彰

川崎 まり子・橋本 弘・早川 ちせ・金田 久江・藤田 雅子・玉木 光治  
仁志 貴久江・堀 輝子・寺西 勝子・山本 洋子・石崎 シナ子・武田 宏子・越智 博美・工藤 千嘉子・千葉 猛・田邊 光彦（民生委員・児童委員功労）

□8月21日 北海道社会福祉大会席上

(カ) 北海道共同募金会会長表彰

藤田 政利（永年勤続奉仕者）

岩見沢東ロータリークラブ・岩見沢市仏教連合会・岩見沢ヤクルト販売株式会社（共同募金運動優秀団体）

□8月21日 北海道社会福祉大会席上

(6) ボランティアセンターの機能充実

① ボランティアセンター運営事業

市民から寄せられるボランティアに係る相談支援やボランティア派遣のコーディネートを行うとともに、ボランティア活動に関する市民の関心と理解を深めるため、情報誌やホームページ等を活用した情報発信を行い、ボランティア活動の促進に努めた。

また、ボランティアセンター運営委員会及び運営部会を開催し、各関係機関等との協力関係を深め、ボランティアセンター運営の充実に努めた。

□運営委員会の開催（年3回）（書面開催1回含む）

□運営部会の開催（随時）

□定例会の開催（月1回）

(7) ボランティア登録団体・個人数

区 分	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
登録団体数	27 団体	26 団体	27 団体	27 団体	29 団体
登録個人数	10 人	17 人	14 人	16 人	17 人

(イ) ボランティア相談・連絡調整件数

区 分	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
-----	----------	----------	----------	----------	-------

相談件数	27 件	23 件	19 件	43 件	33 件
連絡調整件数	8 件	14 件	15 件	36 件	31 件

(ウ) ボランティア派遣支援

車いす介助、視力障がい者介助及び手話通訳等のボランティア派遣を行い、高齢者や障がい者などその家族の日常の負担軽減を図った。

□派遣人数 延べ 124 人

②広報紙「おもいあい」の発行

ボランティア活動に関する市民の関心と理解を深めるため、ボランティアセンター広報部会によるボランティアセンター広報紙「おもいあい」を市内の公共機関等に設置し、ボランティア情報及び活動の周知啓発に努めた。

□発行 年 3 回発行 (6 月号・10 月号・3 月号)

□発行部数 各回 1,500 部

③各種研修事業への参加促進

各種研修会等に参加し、ボランティアに係る先進的事例等の情報収集、研修、他のボランティア活動者との交流を深め、ボランティア活動者の資質向上及びボランティアネットワークの促進を図った。

開催日	研修会等名	参加者数
7 月 26 日	令和元年度ボランティア強化セミナー	26 人
9 月 28 日	ボランティア愛ランド北海道 2019in えさし	9 人
11 月 13 日	令和元年度空知地区ボランティア活動推進会議	2 人
11 月 13 日	令和元年度空知地区ボランティア活動推進セミナー	45 人
1 月 8 日	令和元年度全道福祉の学習推進セミナー	2 人

(7) 地域を支えるボランティアの育成

①各種ボランティア養成講座の開催

ボランティア活動に興味のある方を対象とした、専門分野のボランティアを養成する講座などを開催し、新たなボランティア人材の発掘と育成に努めた。

(ア) 手話奉仕員養成講座

聴覚障がいに対する理解促進と聴覚障がい者の社会参加、日常生活を援助する手話奉仕員の養成を行った。

□昼の部 4 月 10 日～12 月 11 日 (全 34 回) 受講者 11 人修了者 7 人

□夜の部 4 月 9 日～12 月 10 日 (全 34 回) 受講者 13 人修了者 6 人

(イ) 傾聴ボランティア講座

傾聴についての知識と技術や心構えなどを学び、傾聴に対する理解促進と地域や施設において活動する傾聴ボランティアの養成を行った。

□6 月 4 日～21 日 (全 3 回) 受講者 8 人

(ウ) 精神保健ボランティア講座

精神障がいへの理解を深め、精神障がい者が豊かな地域生活を送ることができ

るように、その橋渡し役としての精神保健ボランティアの養成を行った。

□6月13日～27日（全3回） 受講者 6人

(エ) ガイドボランティア講座

視力障がい者に対する理解と点訳についての知識と技術等を学習し、視力障がい者を支援する点訳ボランティアの人材育成を図った

□7月4日～19日（全3回） 受講者 9人

(オ) はじめてのボランティア講座

ボランティア活動に興味・関心がある方、ボランティア活動を始めたいと考えている方や活動の幅を広げたい方を対象として、ボランティア活動の基本的な知識を学習し、ボランティアの人材発掘に努めた。

□7月23日 受講者 4人

(カ) ボランティア活動者交流会

ボランティアセンター登録団体及び個人の活動者の情報交換、交流を通し様々な分野でのボランティア活動の状況を把握し、今後の活動のネットワークづくりを図った。

□6月24日 参加者 86人

(キ) ボランティア活動者研修会

ボランティア活動者が一堂に会し、地域に根付いたボランティア活動のあり方を学び、スキルアップを図り、今後のボランティア活動の充実を図った。

□2月21日 参加者 52人

(ク) ボランティアの活動支援事業

登録ボランティア団体・個人が安心して活動するために、ボランティア活動保険料の助成やボランティアに関する情報提供を行い活動の促進を図った。

さらに、被災地支援ボランティア活動者に対して保険料の助成を行い、被災地復興ボランティア支援の促進を図った。

□ボランティア団体助成 17団体 170,000円

□ボランティア活動保険 個人28人（一般18人・災害4人・除雪6人）  
25団体（518人）

(8) 将来を見据えた福祉教育の推進

①学童・生徒のボランティア活動普及事業

小・中・高等学校の学童・生徒の社会福祉への関心と理解を高め、実践活動によりボランティアの心と社会連携の精神を養うことを目的に、各学校に対し福祉教育のボランティア活動実践活動費の助成支援を行った。

□小・中・高等学校25校 助成金500,000円

②児童・生徒のボランティア体験研修会

中・高等学校の生徒を対象に、障がい当事者やボランティア活動者をはじめ様々な分野で活動している地域活動者との協働の機会を創出し、ボランティア意識の醸成に努めた。



今年度は、災害に関するテーマの講話やグループワークを通し、災害時等に自分達に何ができるか考え、自主性の育成を図った。

□8月8日 参加者 45人

### ③指定地域福祉教育セミナー

教育関係者を対象に、専門的な講師による講話や学校におけるボランティア活動実践発表等を通じて、福祉教育に関する今後の在り方や方向性等について研修を行い、福祉教育の充実を図った。

□1月29日 参加者 19人

### ④地域福祉教育推進事業

学校からの福祉体験学習の要請に応じ、障がい当事者及びボランティアを講師派遣し、効果的な学習を実施することで、ノーマライゼーションの理念普及に努めた。

□派遣人数 111人

## 【福祉体験学習実施状況】

	実施日	学校名	学年・人数	学習内容
1	9月3日	中央小学校	4年生 50人	聴覚障がい者の講話、手話体験
2	9月17日	月形小学校	3年生 16人	聴覚障がい者の講話、手話体験
3	9月19日	中央小学校	3年生 65人	視覚障がい者の講話、ガイドヘルプ体験
4	9月24日	中央小学校	3年生 65人	高齢者に関する講話、高齢者疑似体験
5	10月17日	西高等学校	3年生 23人	聴覚障がい者の講話、手話体験
6	10月31日	日の出小学校	2年生 57人	聴覚障がい者の講話、手話体験
7	11月6日	北真小学校	6年生 23人	高齢者に関する講話、高齢者疑似体験
8	11月8日	日の出小学校	4年生 53人	車いす利用者との交流、車いす体験
9	11月14日	日の出小学校	3年生 57人	視覚障がい者の講話、ガイド体験
10	11月19日	豊中学校	3年生 35人	車いす利用者との交流、車いす体験
11	11月26日	緑中学校	全校生 250人	車いす利用者との交流、車いす体験
12	11月28日	豊中学校	3年生 35人	高齢者疑似体験
13	12月4日	日の出小学校	6年生 66人	視覚障がい者の講話、点訳体験
14	12月10日	栗沢小学校	2年生 17人	視覚障がい者の講話、ガイド体験
15	12月10日	栗沢小学校	3年生 29人	聴覚障がい者の講話、手話体験
16	1月24日	第二小学校	4年生 17人	聴覚障がい者の講話、手話体験
17	1月27日	第二小学校	6年生 22人	高齢者に関する講話、高齢者疑似体験
18	1月30日	第一小学校	4年生 79人	視覚障がい者の講話、ガイド体験
19	2月3日	第二小学校	5年生 11人	車いす利用者との交流、車いす体験
20	2月6日	第二小学校	3年生 26人	視覚障がい者の講話、ガイド体験
21	2月18日	栗沢小学校	5・6年生 70人	車いす利用者との交流、車いす体験

22	2月25日	美園小学校	3年生 67人	聴覚障がい者の講話、手話体験
	延べ	22校	1,130人	

⑤市内高等学校の生徒を中心としたボランティア活動への支援や協力

農業高校ボランティア・ユネスコ部、緑陵高校ボランティア部、東高校ボランティア部、西高等学校生徒会執行部、高等養護学校生徒会執行部の5高校の生徒が行う「第8回復興支援東北の物産販売高校生プロジェクト in 岩見沢」に協力を行い、高校生のボランティア活動や社会参加活動についての取組みを支援した。

□7月21日 札幌地下歩行空間・8月24日 大和タウンプラザ

□寄付金額 502,051円

(9) 地域における権利擁護の推進

①日常生活自立支援事業

認知症、知的障がい及び精神障がい等により、判断能力が不十分で日常生活に支障のある方に対し、福祉サービスの利用援助や日常的金銭管理等の支援を行い、日常生活の自立支援に努めた。

(ア)利用契約者件数

区 分	認 知 症 高 齢 者	知 的 障 が い 者	精 神 障 が い 者	そ の 他	合 計
相 談 件 数	795件	146件	373件	1件	1,315件
新規利用契約件数	4件	2件	3件	0件	9件
解 約 件 数	9件	0件	0件	0件	9件
利用契約件数	6件	4件	8件	0件	18件
生活支援員数	30人（実働13人）				
社協預かり	通帳13冊・印鑑0本				

(イ)生活支援員研修会

内 容	開 催 日	出席者数
講義「権利擁護の視点から学ぶ認知症高齢者との関わり方について」 講師 医療法人社団豊生会 長井 卷子 氏	令和2年3月16日	新型コロナウイルスの影響で中止

(ウ)北海道地域福祉生活支援センター指揮監督者・自立生活支援専門員・生活支援員研修会【空知地区】への出席

内 容	開 催 日	出席者数
説明 「日常生活自立支援事業の理解」 講義1、2 「利用契約者の理解①、②」 講師 砂川市地域包括支援センター 管理者 高橋 聡 氏	令和元年7月17日	職員 2人 生活支援員 7人

地域生活支援センターあ〜ち センター長 川瀬 宏義 氏 分科会 1 <指揮監督者、専門員対象> 説明 「日常生活自立支援事業の実施上のポイント」 分科会 2 <生活支援員対象> 説明 「生活支援員業務のポイント」		
---	--	--

②成年後見支援センター事業

誰もが住み慣れた地域で、自分らしく安心して暮らせる地域づくりを目指すため、認知症や知的・精神障がい等により判断能力が十分でない方が成年後見制度を適切に利用できるよう成年後見支援センターの安定的かつ適切な運営に努めた。

また、市民後見人の活動支援として法人後見事業を実施し、関係機関、専門職、行政等との連携のもと、法人後見支援員と協働し、要支援者への適切な身上監護、財産管理を行った。

その他、市民の成年後見制度に対する理解や関心を高めるため、普及啓発に関する取り組みを行った。

(7)相談・申立手続支援実績

・相談件数

相 談 状 況	新規相談	103 件	計 808 件
	継続相談	705 件	

・相談内容

相 談 状 況 ( 重 複 あ り )	法定後見	566 件	計 889 件
	任意後見	6 件	
	日常生活自立支援事業	29 件	
	相続・遺言	31 件	
	市長申立	106 件	
	介護・福祉サービスの手続き	12 件	
	財産管理	53 件	
	虐待	4 件	
	借金	10 件	
	その他	72 件	

・申立手続支援

今年度中に申立に至った件数 ( 実 件 数 )	本人申立 (うち、弁護士等書類作成代行申立)	4 件 (4 件)	計 14 件
	親族申立 (うち、弁護士等書類作成代行申立)	4 件 (1 件)	

	市長申立	6件	
--	------	----	--

(イ) 成年後見支援センター運営協議会・事例検討会

会議名	開催日
第1回成年後見支援センター運営協議会	令和元年6月10日
第1回成年後見支援センター事例検討会	令和元年6月10日
第2回成年後見支援センター事例検討会	令和元年8月6日
第3回成年後見支援センター事例検討会	令和元年12月13日
第4回成年後見支援センター事例検討会	令和2年2月27日

(ウ) 市民後見人の養成と活動支援

・市民後見人養成講座

事業名	開催日	受講者数	修了者数
市民後見人養成講座 (基礎編)	令和元年9月7日～10月26日 毎週土曜日 全8日間	10人	10人
市民後見人養成講座 (フォローアップ編)	令和元年11月7日～11月28日 毎週木曜日 全4日間	12人	10人

・法人後見受任状況

新規受任件数	6件
受任終了件数	1件
継続受任件数	11件
累計受任件数	13件

・法人後見支援員の登録と活動状況

法人後見支援員新規登録者数	6名
法人後見支援員登録抹消者数	2名
法人後見支援員全登録者数	36名
法人後見支援員活動者数(年度末時点)	23名
法人後見支援員活動回数(延べ)	144回
法人後見支援員活動人数(延べ)	271人
職員活動件数(延べ)	633件

・法人後見支援員登録時研修会

内容	開催日	出席者数
説明「法人後見支援員の具体的な活動内容について」 説明者 成年後見支援センター相談支援員 意見交換	令和2年3月24日	新型コロナウイルスの影響で中止

・第1回法人後見支援員スキルアップ研修会

内容	開催日	出席者数
演習「意思決定支援の視点による権利擁護支援」	令和元年6月27日	18名

について」 講師 社会福祉士事務所たりたり 代表 平田 淳 氏		
---------------------------------------	--	--

・第2回法人後見支援員スキルアップ研修会

内 容	開 催 日	出席者数
演習「事例で学ぶ成年後見人等の役割について」 講師 岩見沢なほし法律事務所 弁護士 田村 秀樹 氏	令和元年12月17日	22名

・法人後見支援員自主活動グループの設立【新規事業】

法人後見支援員登録者の継続的な資質向上、活動意欲の維持・向上、登録者間の交流・情報交換の機会を設け、よりよい活動の推進に寄与することを目的に、法人後見支援員の自主活動グループ「岩見沢市民後見人の会」の設立に向けて準備会を組織し、協議・検討を行った。

※当初、令和2年3月17日に設立総会を開催する予定であったが、新型コロナウイルスの影響により次年度に延期。

(エ) 普及啓発

・成年後見制度講演会

開 催 日 時	令和元年9月29日(土) 13時00分～14時30分
開 催 場 所	岩見沢市自治体ネットワークセンター マルチメディアホール
内 容	講演「認知症になった波平さん ～契約社会と成年後見制度～」 講師 日本福祉大学中央福祉専門学校 専任教授 渡辺 哲雄 氏
参 加 者 数	120人

・成年後見制度パネル展

開 催 日 程	令和元年9月29日(土)
開 催 会 場	イベントホール赤レンガ(いわみざわ健康まつり)

・成年後見制度無料出張相談会

担 当 相 談 員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金山司法書士事務所 司法書士 金山 靖 氏</li> <li>・やすだ社会福祉士事務所 社会福祉士 安田 昌彰 氏</li> <li>・行政書士斎藤法務事務所 行政書士 斎藤 哲也 氏</li> <li>・岩見沢市地域包括支援センター(各地区) 社会福祉士</li> <li>・岩見沢市成年後見支援センター 相談支援員</li> </ul>
開 催 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年8月20日 日の出コミュニティセンター 2名</li> <li>・令和元年8月22日 北ふれあいセンター 0名</li> </ul>
開 催 場 所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年8月27日 南コミュニティセンター 2名</li> <li>・令和元年10月24日 岩見沢市役所栗沢支所 0名</li> </ul>
相 談 者 数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年10月29日 幌向総合コミュニティセンターほっとかん 2名</li> </ul>

	・令和元年10月31日 岩見沢市役所北村支所	0名 計6名
--	------------------------	-----------

- ・出前講座講師対応（依頼テーマ：成年後見制度について等）

団体名	実施日	参加者数
稲穂ふれあいサロン	令和元年6月26日	29人
南友福寿会	令和元年7月5日	18人
岩見沢市北村砂浜町会事業部	令和元年9月7日	35人
美園一心町会	令和元年9月10日	13人
岩見沢市地域包括支援センター	令和元年9月19日	80人
北盛地区町会連絡協議会	令和元年10月25日	28人
利根別地区町会連絡協議会	令和元年11月14日	20人
	計7か所	計223人

- ・その他周知啓発活動

実施事項	部数
成年後見支援センターパンフレットの作成・配布	2,000部
成年後見制度出前講座リーフレットの作成・配布	500部

(オ) その他

- ・講師対応

団体名／研修会／テーマ	実施日
北海道社協職員連絡協議会／令和元年度全道社協職員研究協議会 「岩見沢市成年後見支援センターの取り組みについて」	令和元年7月18日
美唄市社会福祉協議会／令和元年度美唄市市民後見人養成講座 「市民後見人活動の実際 市民後見人の活動と成年後見センターの役割について」	令和元年8月29日

(10) 生活困窮者等への支援

①生活福祉資金貸付事業（北海道社会福祉協議会委託事業）

他の貸付を受けることができない、低所得者や高齢者、障がい者の世帯に対し、民生委員・児童委員等と連携し、必要な資金の貸付と相談支援を行うとともに、岩見沢市生活サポートセンターりんく等の関係機関と連携し、生活困窮者世帯の経済的自立や生活意欲の助長促進を図った。

また、新型コロナウイルスの影響を受け、休業等により収入の減少があり、日常生活の維持が困難となった世帯に対し、緊急小口資金及び総合支援資金の特例貸付を行った。

□貸付件数及び貸付金額

資金名	資金の種類	件数	貸付金額
福祉資金	冠婚葬祭費	1件	122,000円

	その他の経費	1件	170,000円
	緊急小口資金	4件	400,000円
教育支援資金	就学支度費	1件	153,000円
合 計		7件	845,000円

□特例貸付件数及び貸付金額（令和2年3月25日～31日）

資金の種類	件数	貸付金額
緊急小口資金【特例貸付】	11件	1,990,000円
総合支援資金【特例貸付】	0件	0円
合計	11件	1,990,000円

## ②愛情銀行緊急生活費交付事業

やむを得ない事情により、緊急に生活費が不足した世帯に対し、緊急生活費の貸付支援を行った。

□6件 73,000円

## ③法外援護事業

生活保護申請から決定までの生活つなぎ資金及び金銭不所持者等の送還旅費について、市福祉事務所へ助成を行い、市福祉事務所を通じて貸付及び交付を行った。

□生活つなぎ資金 68件 610,000円

□送還旅費 8件 13,200円

## (1 1) 災害ボランティア現地対策本部の組織整備【重点】

### ①災害ボランティアセンター設置・運営訓練の実施

災害時に迅速かつ効果的に被災者の生活復旧を支援するため、岩見沢市や北海道社会福祉協議会、関係機関、ボランティアと連携し、災害ボランティア活動の円滑な実施に向けた組織体制の整備及び災害ボランティアセンター設置・運営訓練を実施した。

#### (ア) 災害ボランティアセンター設置・運営訓練に係る事前学習会

日 程：令和元年8月20日（火）

内 容：災害ボランティアセンターの概要

災害時に被災地の社協職員として求められる役割

時間経過に伴う災害ボランティアセンターの役割や構成員の変化

対象者：当会職員（正職員・嘱託職員）

参加者：30人

#### (イ) 災害ボランティアセンター設置・運営訓練（第1回目）

日 程：令和元年8月25日（日）

内 容：災害ボランティアセンター設置・運営訓練

対象者：当会職員（正職員・嘱託職員）

参加者：22人

(ウ) 災害ボランティアセンター設置・運営訓練（第2回目）

日 程：令和元年10月20日（日）

内 容：災害ボランティアセンター設置・運営訓練

対象者：当会職員・岩見沢市職員・災害ボランティア事前登録者・ボランティアセンター登録者他

参加者：70人

②災害用資機材の整備

赤い羽根共同募金からの助成を活用し、災害ボランティア対策本部の運営に必要な資機材の整備を行った。

□購入品 折りたたみアルミリアカー 1台（積載荷重300kg）

□購入金額 142,560円

□助成金 赤い羽根共同募金（全道・広域配分金）から106,000円

(12) 地域福祉活動計画の進行管理

各担当者・係において、各事業について評価・効果・課題等を明らかにし、事業の見直しや強化等を検討し、令和2年度の事業計画及び予算に反映させた。

(13) 共同募金運動への協力

地域福祉活動の財源である共同募金の助成金を確保するため、各種募金活動を実施するとともに、前年度に引続き、「いわみざわ百餅まつり」と赤い羽根をコラボした岩見沢市限定の寄付金付ピンバッジを1,200個制作し、各イベント会場等でピンバッジを活用した共同募金のPR及び幅広い世代への共同募金の理解促進を図り、共同募金の推進に努めた。

また、全国各地で発生した大規模災害の義援金の受付窓口として協力をホームページ等で周知した。

①実績額

区 分	令和元年度実績額	平成30年度実績額	増 減
赤い羽根共同募金	8,134,053円	8,000,656円	133,397円
歳末たすけあい運動	7,174,190円	7,372,775円	△198,585円

②災害義援金実績額

災害義援金名	実績額
平成30年度北海道胆振東部地震災害	8,291円
令和元年台風15号千葉県災害	10,000円
令和元年台風19号災害	117,000円

## 2 運営基盤の強化と人材の育成

社会福祉協議会としての役割を果たし、安定的かつ持続的な財源の確保や将来を見据えた人材の育成を図り、地域福祉を専門的な視野で捉えるため、役職員が積極的に各種



研修会や講習会に参加できる体制づくりに取り組んだ。

【主要な取組】

- (1) 岩見沢市社会福祉協議会地域福祉活動計画に沿って、住民参加、協働による地域に根差したボランティア育成事業を中心に、誰もが安心して暮らせる地域づくりに取り組んだ。
- (2) 第2期岩見沢市社会福祉協議会発展強化計画に沿って社協としての使命や経営理念、人材育成等、将来の社協像を見据えた事業を実施した。
- (3) 法を遵守し、福祉サービスを供給する体制の整備及び充実を図り、事業運営の透明性の向上及び財務規律の強化や介護人材の確保など、適正な業務の執行に努めた。
- (4) 役職員が各種研修会や講習会等に積極的に参加し、資質向上に努めるとともに、内部連絡会などを通じて職員間の共通意識を高め、資質の向上に努めた。

① 職員研修（内部）

- ・ケアマネージャー内部研修
- ・ホームヘルパー内部研修
- ・社協連絡会
- ・ボランティアセンター定例会
- ・メンタルヘルス研修

② 職員研修（外部）

- ・岩見沢ケアマネジメント研修会
- ・居宅介護支援事業所合同事例検討会運営委員会
- ・災害ボランティアコーディネーター養成・資質向上研修会
- ・広報講習会
- ・居宅介護支援事業所合同事例検討会
- ・岩見沢介護支援専門員連絡協議会研修会
- ・災害ボランティアセンター初期支援チーム研修会
- ・空知地区日常生活自立支援事業研修会
- ・福祉村ボランティア懇談会
- ・北海道介護支援専門員専門研修Ⅱ
- ・地域における権利擁護システム構築セミナー
- ・全道福祉の学習推進セミナー
- ・岩見沢市認知症初期集中支援チーム検討委員会
- ・多重債務相談等に係る勉強会
- ・権利擁護研修会
- ・自立生活支援専門員研修会
- ・権利擁護人材育成市町村セミナー
- ・空知地区ボランティア活動推進セミナー

③ 役員研修

- ・地域支え合い活動空知地区推進セミナー

- ・法人役員専門研修（社会福祉協議会）
- ・北海道社会福祉大会
- ・地域に理解され支持される社協づくり研修
- ・社会福祉法人（社会福祉協議会）監事研修
- ④ 人材育成研修
  - ・全道市町村社協新任職員研修会
  - ・新任経理・総務担当者研修
  - ・総務担当者専門研修
  - ・福祉専門職のためのキャリアアップ研修初任者コース
  - ・福祉専門職のためのキャリアアップ研修管理者コース
  - ・権利擁護人材育成セミナー
  - ・要介護認定調査員新規研修
  - ・ボランティア強化セミナー
- ⑤ 社協関連会議
  - ・空知管内社会福祉協議会連絡協議会理事会総会及び会長事務局長会議
  - ・全道市町村社協新任会長、事務局長研修会
  - ・全道市町村社協会長、事務局長研究協議会
  - ・空知地区社協職員連絡協議会運営委員会、研修交流会
  - ・全道社協職員研究協議会
  - ・空知地区社協職員連絡協議会スキルアップ研修会
  - ・南空知社会福祉協議会連絡会会長・事務局長会議
  - ・空知管内社会福祉協議会会長、事務局長会議
  - ・全道市町村社協事務局長連絡会議
- ⑥ 外部団体参画会議
  - ・岩見沢市防災会議
  - ・健康と福祉を高める市民会議
  - ・防災事務担当者会議
  - ・北海道薬物乱用防止指導員南空知地区協議会研修会
  - ・岩見沢市包括支援センター運営協議会及び地域密着型サービス運営委員会
  - ・岩見沢地区地域療育推進協議会
  - ・岩見沢市地域密着型サービス運営委員会
  - ・南空知保健医療福祉圏域推進会議及び地域医療構想専門部会合同会議
- ⑦ その他
  - ・安全運転管理者講習会
  - ・副安全運転管理者講習
  - ・ボランティア愛ランド in えさし
  - ・共同募金委員会関係者研究協議会等に参加・受講し専門性の確保と資質向上に努めた。

### 3 社会福祉協議会の活動への理解促進

広報活動の強化・充実を図るため、社協だよりの発行等の事業を行った。

#### (1) 「社協だより」の発行

地域福祉活動の取組について広く市民に理解を得るため、「社協だより」の紙面の工夫や内容の充実を図るとともに、全世帯に配付することで当会事業の具体的な内容と福祉情報を広く周知した。

□発行回数 年3回(7・12・3月)

□発行部数 各回35,000部

#### (2) ホームページを活用した情報発信

社会福祉協議会事業計画や事業報告、予算、決算等関係書類、附属明細表等について情報発信するとともに、各種事業の取組や講座開催などの情報をいち早く提供した。

#### (3) 会員の加入促進、共同募金の趣旨啓発

社会福祉に対する市民理解を深めるとともに、安定的かつ持続的な財源を確保するため、会員の加入促進、共同募金の趣旨啓発を図り、寄付金による社会貢献活動への理解に努めた。

また、岩見沢市共同募金委員会作成のピンバッチを利用し募金推進に努めた。

内 容		金 額
香典返し寄付金	26 件	815,000 円
一般寄付金	44 件	1,103,560 円
一般会員 (1 世帯年額 100 円 234 町会 26,798 世帯)		2,679,800 円
特別会員 (1 口年額 5,000 円 47 団体 73 口)		365,000 円
賛助会員 (1 口年額 1,000 円 315 人 496 口)		496,000 円
企業会員 (1 口年額 10,000 円 33 社 36 口)		360,000 円
共同募金	赤い羽根共同募金	8,134,053 円
	歳末たすけあい	7,174,190 円

### 4 日常生活用具の助成・物品貸出事業

#### (1) 愛情銀行運営事業

日常生活を営む上で、生活用具が必要と認められた方に廉価で交付または助成を行った。

また、市民の温かい善意と思いやりによる金品の寄付及び預託を受け、真に必要とする方々への交付提供を行った。 別紙資料

□杖助成 7人

□アイスピック助成 9人

## (2) 車椅子の貸出

傷病等の理由により一時的に車椅子が必要になった方や、彩花まつり、ふるさと百餅祭り等のイベントに車椅子を貸出し、日常生活の質的向上や社会参加の促進、在宅介護への負担軽減に努めた。

また、小・中・高等学校の福祉体験学習にも貸出しを行い、効果的な福祉教育に活用した。

### □車椅子貸出状況

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
件 数	112 件	106 件	112 件	94 件	88 件
台 数	222 台	232 台	180 台	185 台	215 台

## 5 施設の適正な管理運営

岩見沢広域総合福祉センターについては、地域福祉活動の拠点施設として活用されるよう、福祉・ボランティア団体等の利用者の利便性向上に努めた。

また、岩見沢市から指定管理者として管理や運営を実施している「岩見沢市高齢者福祉センター」、「岩見沢市栗沢福祉団体活動センター」、「栗沢・美流渡デイサービスセンター」については、公共施設としての設置目的を踏まえながら、利用者にとって親しみやすい施設となるよう、適正な管理運営に努めた。

### (1) 岩見沢広域総合福祉センター

#### ① 開館時間及び休館日

(ア) 開館時間 午前 9 時～午後 9 時

(イ) 開館日数 336 日

(ウ) 休 館 日 毎月第 2、第 4 日曜日及び 12 月 29 日～翌年 1 月 3 日

#### ② 消防避難訓練等の実施

(ア) 消防避難訓練 6 月 25 日

(イ) 消防避難訓練及び防災訓練 10 月 25 日

#### ③ 施設の改修・修繕

(ア) 自動ドア部品交換

(イ) 網戸・ブラインド修繕

(ウ) つみき園ゲート修繕

(エ) 駐車場砂利整備

(オ) 2 階研修室 3 ドア部品修理

#### ④ 年度別利用人員及び年度別年間使用料収入状況

区分	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
利 用 人 員	47,583 人	46,003 人	44,372 人
1 日平均利用人数	142.0 人	137.3 人	132.1 人
使用料収入	975,620 円	983,450 円	994,890 円

⑤ 年度別用途別利用数

(単位：件)

区分	平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度	
	有料	無料	有料	無料	有料	無料
会 議	59	154	59	368	67	334
集 会	5	18	2	2	1	0
講 習	18	124	165	209	48	123
研 修	31	64	37	79	12	57
例 会	334	349	167	201	353	242
そ の 他	37	604	24	423	12	476
小 計	484	1,313	454	1,282	493	1,232
社協・町連 母子寡婦福祉会 更生保護サポートセンター	648	1,361	414	1,378	406	1,340
合 計	3,806		3,528		3,471	

(2) 岩見沢市高齢者福祉センターふれあい（指定管理施設）

①開館日及び利用時間

受 託 日	平成 31 年 4 月 1 日
開 館 日	月曜日～土曜日まで
開 館 日 数	260 日 ※新型コロナウイルスの影響で休館（令和 2 年 2 月 26 日～3 月 31 日）
利用時間帯	午前 9 時～午後 5 時まで（入浴時間は正午から午後 3 時まで）

②利用者数

区 分	一般		部会等		合計	
利用人数	16,299 人		17,598 人		33,897 人	
男女別利用人数	男性	8,964 人	男性	8,644 人	男性	17,608 人
	女性	7,335 人	女性	8,954 人	女性	16,289 人
1 日 平 均	62.7 人		67.7 人		130.4 人	

③趣味と教養部会利用状況

部会名	利用回数	利用人数	部会名	利用回数	利用人数
カラオケ部会	34 回	2,418 人	太 鼓 部 会	39 回	297 人
民謡・伴奏部会	28 回	208 人	民謡踊部会	41 回	720 人
俳句部会	8 回	62 人	華道部会	15 回	138 人
太極拳	14 回	144 人	コスモスの会	18 回	77 人
卓球部会	41 回	2,278 人	ふまねっと部会	19 回	212 人
書道部会	41 回	440 人	こぶしクラブ	45 回	1,062 人

手 芸 部 会	35 回	219 人	いきいきサークル	43 回	959 人
木 彫 部 会	34 回	144 人	陶 芸 部 会	167 回	2,794 人
剣 詩 舞 吟 遊 会	20 回	136 人	囲 碁 同 好 会	212 回	3,300 人
ダ ン ス 部 会	38 回	659 人	将 棋 愛 好 会	212 回	1,151 人
茶 道 部 会	22 回	136 人	小 計	1,141 回	17,598 人
謡 吟 会	15 回	44 人	オモチャの病院	43 回	151 人
合計				1,184 回	17,749 人

#### ④主な行事

##### (7)趣味と教養部会

内容	発表部会数	展示数・発表数	人数
展示発表	7 部会	297 点	104 人
舞台発表	6 部会	29 演題	330 人
呈茶席	1 部会	1 回	60 人
ふまねっと体験教室	1 部会	1 回	20 人
合計			514 人

##### (イ)その他

行事名	開催年月日	参加人数
土曜初心者陶芸教室	5, 6, 9, 10 月	20 人
ビデオ映画上映会	8 月	11 人
健康相談	6, 9, 2 月	122 人
ふれあいコンサート・カラオケの集い	8, 11, 2 月	60 人
高齢者福祉センター「ふれあいまつり」	8 月 3 日	500 人
移動心配ごと相談所	9 月 18 日	0 人
センター大掃除	12 月 13 日	108 人
お楽しみ会	12 月 21 日	43 人
市老連女性部基礎ヨガ体操	1 月 31 日	58 人

#### (3) 岩見沢市栗沢福祉センター（指定管理施設）

受 託 日	平成 31 年 4 月 1 日
営 業 日	月曜日～金曜日まで（祝日を除く）
開 館 日 数	216 日※新型コロナウイルスの影響で休館（令和 2 年 2 月 26 日～令和 2 年 3 月 31 日）
時 間	8 時 30 分～17 時 30 分まで
利 用 人 数	年間 2,391 人 1 日平均 11 人
職 員 配 置	嘱託職員 1 人（支所業務と兼務）
利 用 団 体	・栗沢更生保護女性会・岩見沢市老人クラブ連合会栗沢地区協議会 ・いちいの会・岩見沢市赤十字奉仕団栗沢班・フラサークルハウオリ

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栗沢サロン・幸穂幸せの会・親子ひろば・岩見沢市健康づくり推進課</li> <li>・民生委員児童委員協議会 12 方面</li> </ul>
--	--

(4) 栗沢・美流渡デイサービスセンター（指定管理施設）

名 称	栗沢デイサービスセンター				美流渡デイサービスセンター	
受 託 日	平成 31 年 4 月 1 日				平成 31 年 4 月 1 日	
区 分	指定通所介護・第一号通所介護事業（予防通所介護相当）【通常規模型】				指定地域密着型通所介護・第一号通所事業（指定予防介護相当）	
定 員	月～金曜日 30 人(1 単位目) 土曜日 20 人(2 単位目)				1 日 8 人	
利用人数		年 間	月、火、木、金	土		年 間
	営業日数	258 日	207 日	51 日	営業日数	147 日
	実人数	633 人			実人数	128 人
	延人数	4,877 人	4,280 人	597 人	延人数	790 人
	1 日平均		20.7 人	11.7 人	1 日平均	5.4 人
職員登録人数 (3 月 31 日現在)	管理者（兼務） 1 人 生活相談員 3 人 介護員（兼務） 1 人 臨時介護員 11 人 臨時看護師 4 人 臨時運転手 1 人				管理者（兼務） 1 人 生活相談員 1 人 臨時介護員 2 人 臨時看護師 1 人	
サービス提供時間帯配置基準	月・火・木・金 職員配置基準 9 人 土曜日 職員配置基準 6 人				月・水・金 職員配置基準 3 人	
営 業 日	週 5 日⇒月・火・木・金・土（祝日を含む） （日曜日及び 12 月 31 日から 1 月 3 日まで休業）				週 3 日⇒月・水・金 （祝日を除く） （土・日曜及び 12 月 31 日から 1 月 5 日まで休業）	
時 間	8 時 30 分から 17 時 45 分まで <b>【提供時間帯】</b> 9 時 15 分～16 時 30 分の 7.25 時間				8 時 30 分から 17 時 15 分まで <b>【提供時間帯】</b> 9 時 45 分～15 時 15 分の 5.5 時間	
介護内容	日常生活上の援助 （排泄の介助、移動の介助、その他必要な身体介護） 入浴の介護、機能訓練、送迎、食事の介助、相談・助言、 介護の指導、運動機能向上訓練					
利 用 料	介護報酬の告示額による ・法定代理受領分(国保連合会) ・法定代理受領分以外(個人負担)					
そ の 他 の 費 用	食費(1 回につき 590 円)、行事食(1 回につき 640 円) お茶・おやつ代(1 回につき 100 円) オムツ代(実費)、その他通常必要なもの					
区 域	岩見沢市全域				岩見沢市の一部地域	

	(朝日町、奈良町、毛陽町、栗沢町美流渡、栗沢町万字)
--	----------------------------

## 6 福祉サービス事業の推進及び経営の健全化【重点】

当会が設置している居宅介護支援事業、訪問介護事業、通所介護事業、相談支援事業、障がい児通所支援事業について、新規利用者増に向けて努力し収益増を図るとともに、関係法令を遵守した適正な運営を行い、利用者が安心して満足できるサービスを受けることができるよう、サービスの質的向上と職員の資質向上に努めた。

近年増加している高齢者虐待ケース等の困難な事例については、地域包括支援センターや市役所等の関係機関と連携し、積極的な支援を行った。

また、発達に遅れや心配のある乳幼児・児童やその保護者が、日常的に適切な相談指導や療育を受けることができるよう、各関係機関と連携し支援に努めた。

### (1) 居宅介護支援事業

要介護・要支援認定者の意向に添い自立した在宅生活が続けられるように、居宅サービス計画書（ケアプラン）作成や介護サービスの調整に努めた。

また、定期的な会議や他法人との合同研修会等を行うことにより、特定事業所加算Ⅱの体制を維持し、ひとり1か月4,000円の加算を算定出来るように努めた。

	令和元年度	平成30年度	増減
要介護利用者数	3,013人	3,044人	△31人
予防利用者数	810人	861人	△51人
要介護月平均利用者数	251.0人	253.7人	△2.7人
予防月平均利用者数	67.5人	71.8人	△4.3人

### (2) 訪問介護事業（ホームヘルプサービス）

#### ①訪問介護事業と介護予防・日常生活支援総合事業

日常生活に支障のある高齢者等に対し、介護保険による居宅介護サービス計画に基づき訪問介護員を派遣し、生活習慣や意向を尊重しながら身体介護、生活援助等必要なサービスを適切に提供し、自立した生活支援に努めた。

また、要支援者に対し介護予防・日常生活支援事業による切れ目のないサービス提供により在宅生活の支援に努めた。

	令和元年度	平成30年度	増減
利用者数	1,354人	1,386人	△32人
延利用回数	9,263回	10,042回	△779回
月平均利用人数	112.8人	115.5人	△2.7人
月平均利用回数	772回	837回	△65回

#### ②居宅介護事業（ヘルパー派遣）



日常生活に支援が必要な身体障がい者及び知的障がい者並びに精神障がい者に対し、障がい者総合支援法によるサービス利用計画に基づき、居宅介護従事者を派遣し、利用者が地域社会における共生の実現に向けて可能な限り自宅で日常生活が営めるよう身体介護、家事援助等を通じて在宅福祉サービスの提供に努めた。

また、関係市町村や地域の保健・医療・福祉サービスと綿密な連携を図り総合的なサービス提供に努めた。

	令和元年度	平成30年度	増減
延利用者数	317人	325人	△8人
延利用回数	2,069回	2,117回	△48回
月平均利用人数	26.4人	27.1人	△0.7人
月平均利用回数	172.4回	176.4回	△4回

### ③相談支援事業（訪問介護課）

障がい者（児）が実際に利用の必要な障がい福祉サービスを円滑に利用するためのサービス等利用計画の作成と、利用をする中でサービスの内容が適切であるかを定期的にモニタリングして継続的に評価・見直しを行った。

障害支援区分認定調査の委託は前年度と同件数であったが、今年度は本州からの委託もあった。各市町村との契約等は滞りなく進める事ができた。

		令和元年度	平成30年度	増減
障がい者	利用計画	132件	141件	△9件
	月平均	11件	11.8件	△0.8件
	モニタリング	231件	311件	△80件
	月平均	19.2件	25.9件	△6.7件
	認定調査	17件	17件	0件
障がい児	利用計画	200件	167件	33件
	月平均	16.7件	13.6件	3.1件
	モニタリング	153件	112件	41件
	月平均	12.8件	9.3件	3.5件

### （3）通所介護事業

栗沢デイサービスセンター、美流渡デイサービスセンターともに厳しい経営状況の中、利用者に対するサービス支援の検討や職員体制等を随時検討するとともに、必要に応じて岩見沢市栗沢支所等と協議を行いながら事業を推進することができた。

美流渡デイサービスセンターについては、令和元年度をもって事業を終了し、令和2年度から栗沢デイサービスセンターに統合することとなった。

#### ①介護予防・生活支援サービスと関係機関との連携

介護予防・生活支援サービスに伴う総合事業と地域密着型サービスにおいては、地域包括支援センター等の関係機関と情報の共有及び連携を図るとともに、既存の連絡会等も活用しながら、地域連携の拠点となるようネットワークづくりに努めた。

## ②機能別・個別的サービスの提供

栗沢デイサービスセンターでは、心身機能に係る機能訓練をマシンや平行棒等を使用して実施するとともに、上下肢の運動を定期的に行い、少しでも機能維持が図れるように取り組んだ。

美流渡デイサービスセンターでは、生活に係る個別的サービスとして、定期的なショッピングの実施や、週2回の移動販売車の利用等で、生活する上で困難となっていることに対して支援した。

## ③人材の確保について

栗沢デイサービスセンターでは、慢性的に介護職員不足が続いていたが、今年度において臨時、パート職員の増員を図ることができた。

## (4) 子ども発達支援センターつみき園

### ①通所支援事業（児童発達支援事業・放課後等デイサービス）

発達に遅れや障がいのある乳幼児・児童に対し、定期的な通園を通して、基本動作の習得や日常生活に必要なとされる能力の発達を促すことを目的に、療育支援提供の充実に努めた。「ことばが遅い」「落ち着きがない」など保護者によってニーズは異なるが、子どもの発達状況を一緒に確認しながら、保護者の気持ちに寄り添うことに努めた。

□登録児数 145人

□児童発達支援事業 利用者数 延 3,532人（一日平均 15.5人）

□放課後等デイサービス 利用者数 延 194人（一日平均 0.9人）

□合計利用者数延 3,726人（一日平均 16.3人）

### ②子ども発達支援センター事業（三笠市、月形町委託事業）

発達に遅れや心配のある乳幼児・児童とその保護者が、日常的に適切な相談指導や療育を受ける事が出来るよう、関係機関への情報提供を行ったり、地域の発達支援体制の協力を努めた。今年度は、延 11件の相談があり、1件がつみき園を利用することとなった。

□関係機関連携数 5機関

□発達支援に関する相談件数（延件数）

来所相談 三笠市 1件

月形町 3件

電話相談 三笠市 5件

月形町 2件

合計 11件

## 7 事務局の運営

当会が事務局を担う岩見沢市共同募金委員会及び岩見沢市連合遺族会並びに岩見沢市老人クラブ連合会について、各会の目的に沿った事業の運営に努めた。

## 8 後援・協賛

事業の後援・共催・協賛により、社会福祉協議会の趣旨普及に努めた。

### (1) 後援

行事名等	開催日
いけまぜ夏フェス 2019inいわみざわ	8月3日・4日
2019 男女共同参画市民フォーラム inいわみざわ	6月29日
まちなか朝市 2019	6月15日、7月12日、 8月17日、9月14日、 10月12日、11月16日、 12月14日、 令和2年1月18日、 2月15日、3月14日
2020年第7回スペシャルオリンピックス日本冬季ショナルゲーム・北海道	令和2年2月21～23日(中止)
いきいき健康フェア	8月31日
第19回ふれあい健康まつり	9月7日
胆振東部地震被災地復興応援ボランティアフリーマーケット	9月7日
健康と福祉を高めるセミナー	10月10日
第31回チャリティーバザー	9月22日
チャリティー春一番!!歌で元気!北海道歌まつり in 岩見沢	令和2年3月20日(中止)

### (2) 協賛

行事名等	開催日
第34回いわみざわ健康まつり	9月29日